

Toriyama Sekien (1712 – 1788) was an 18th century scholar and ukiyo-e artist of Japanese folklore. He was the teacher of Utamaro, and, before taking up printmaking, a painter of the Kano school. Toriyama is most famous for his attempt to catalogue all species of yokai in the Hyakki Yako series.

http://en.wikipedia.org/wiki/Toriyama_Sekien

These are the best copies of some of his prints that I found on the web. More can be learned about individual creatures by googling them and by visiting <http://www.obakemono.com>.

○ 姑 獲 ぶ り



○
葎
う
ん



○
山姥
やまうば



○
海
産
記



○
九
九



○ 狐火
きつねび



かまいとち
○穴船奇



○
河童
かつえ

川太師とて

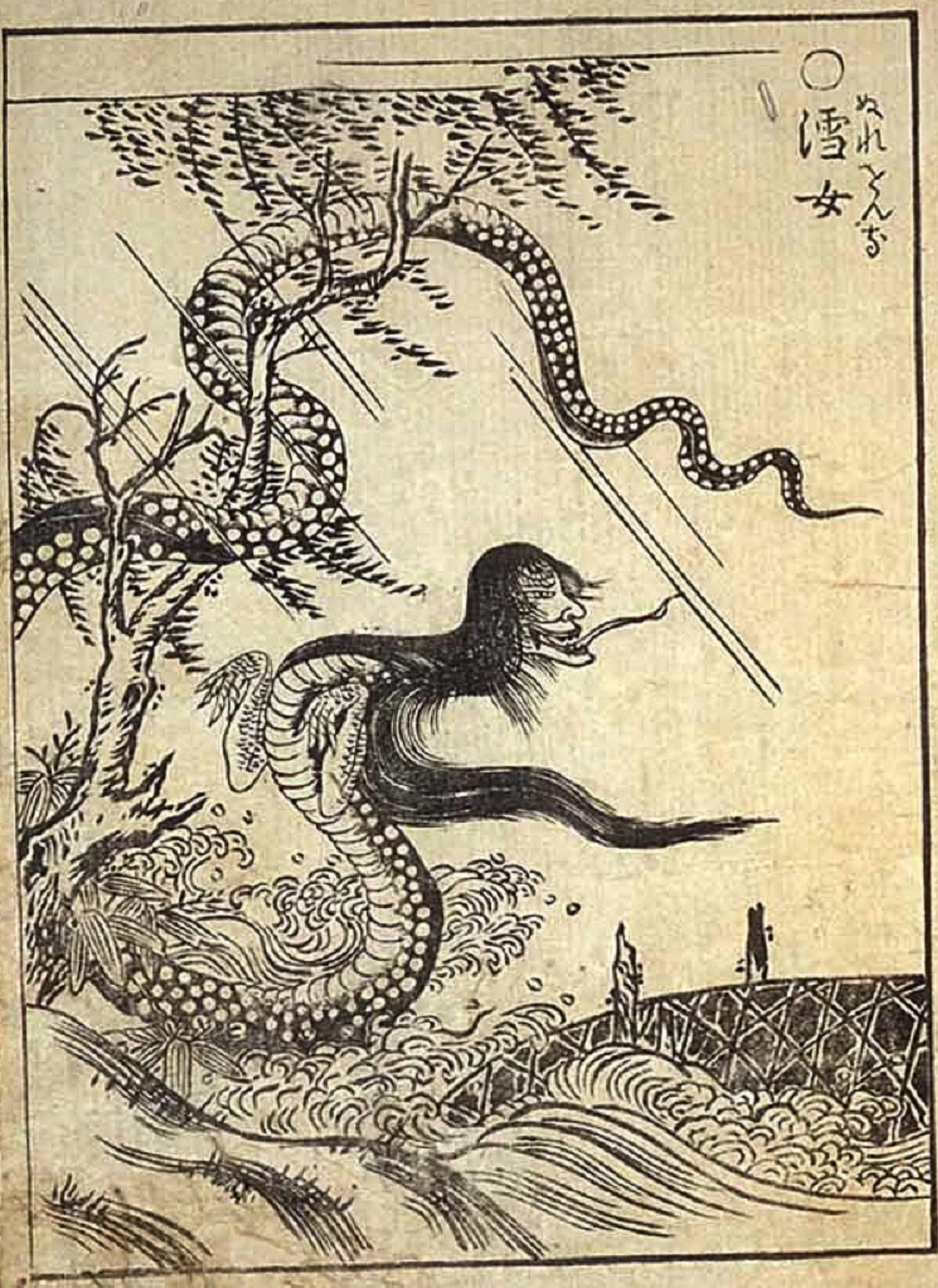


○

天
ん
物
ぐ



ぬれとんち
○酒女





やまひこ
幽谷郷音



猫 ねこ
ま



○あかりげ
青坊主



○ 叢原火 そげんひ

治承西院の南王生寺の
かきくろよ何り俗こゝろと朱
崔の宗源火とらよ



○ 紙剪かみきり



○見哉ミヤ



○
し
ん



○
鼯
柱
乃
以
之



中
八

雪女
○

あまのこ



○
子
女



○
鳴
屋



○ 255



○ 姨が火

河内玉ありと云



○ 熱鼠

くわんて
れい
お家の霊氣と化と
せよあるおと



○ 反枕
まろし



三三三三三三



○
幽霊
中人さか



○
狸
たぬき



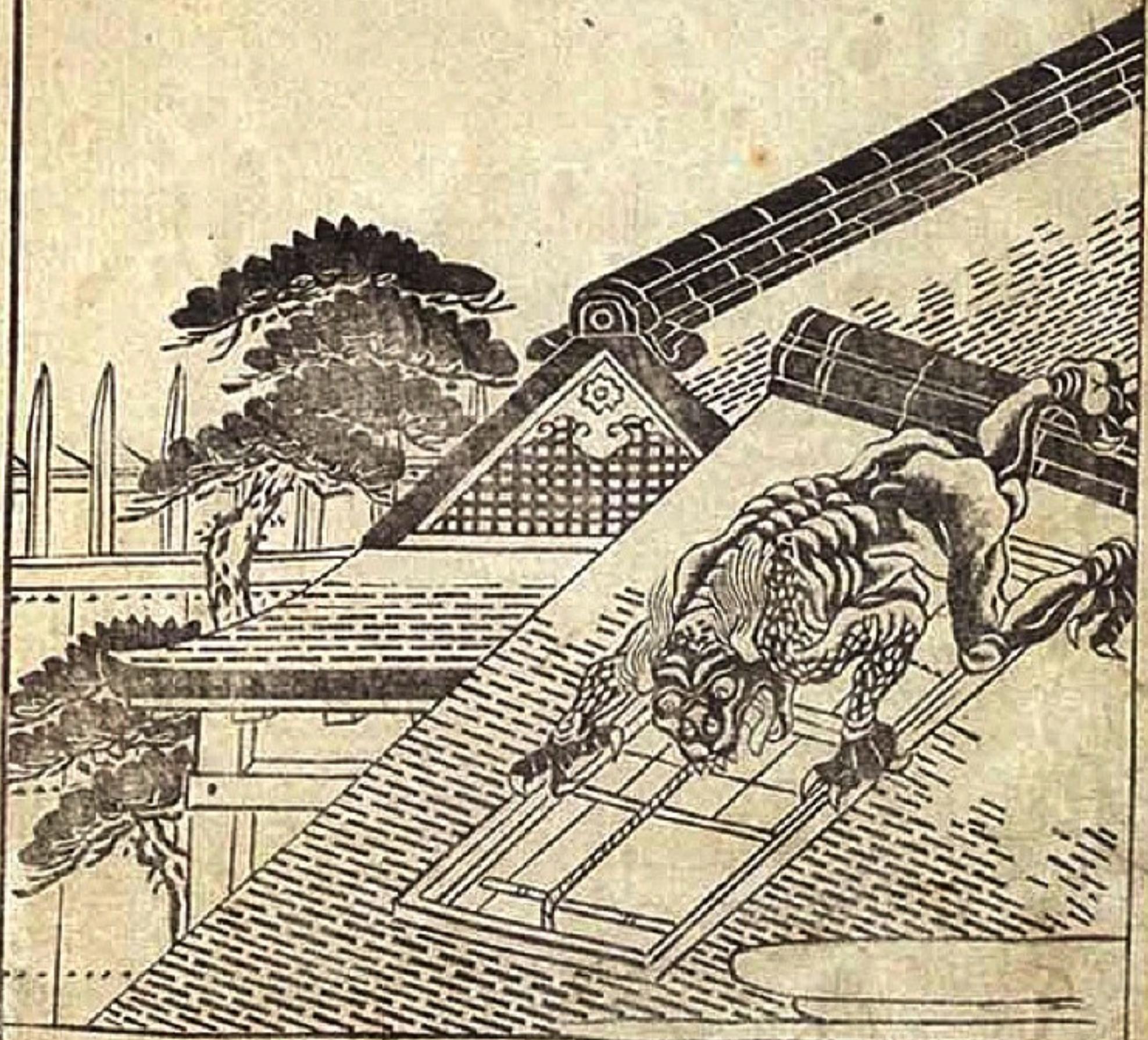
○ 5 4 2 1 0



○
瀬かいらそ



○せうけら



○ 絡新婦
およらぐも



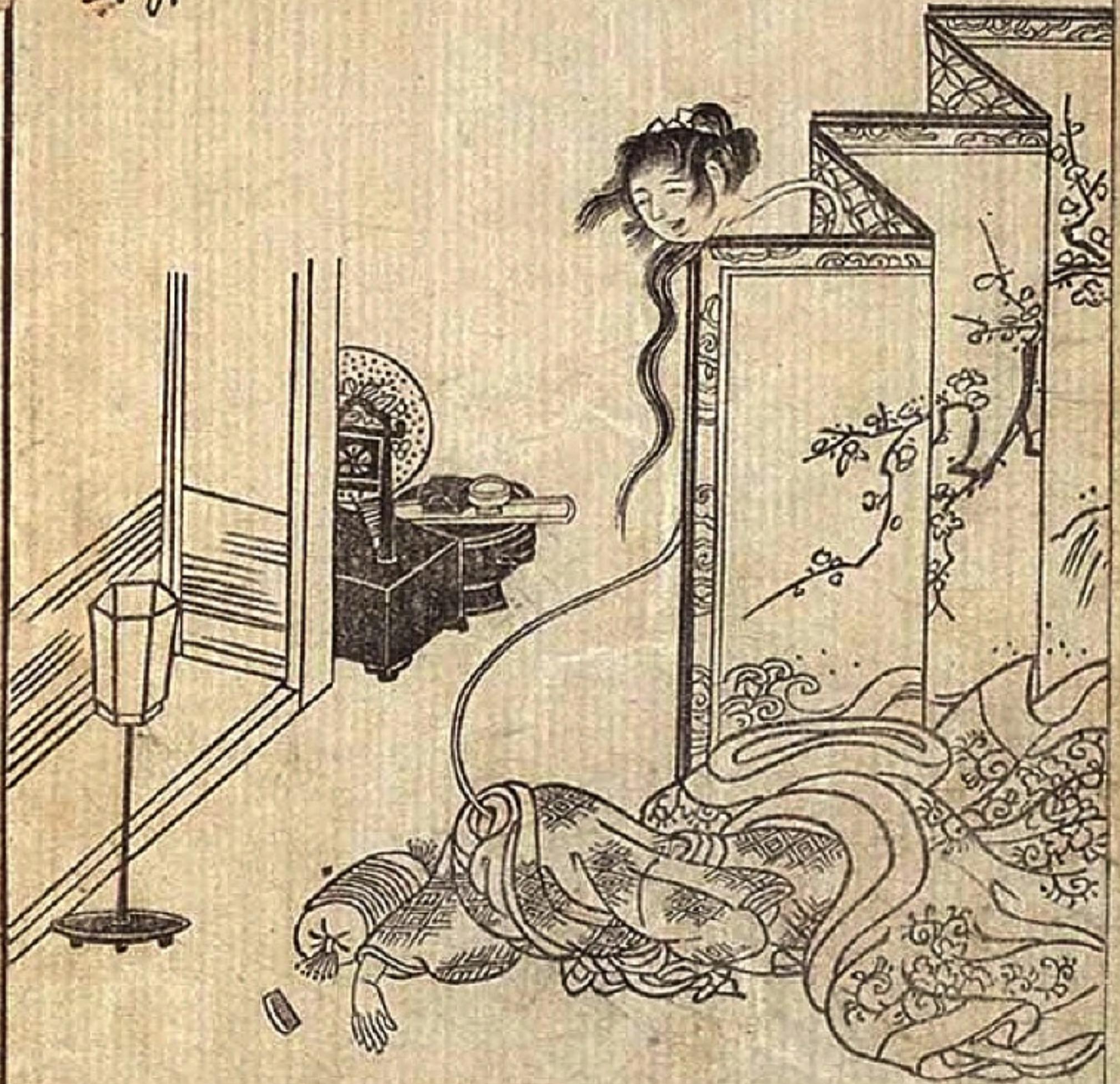
○おとろー



○ちんちん



○ 飛ろく天かく蟻が



○のてらが
野寺坊



○ 黒塚

くろづつら 奥別安達原よりあり
鬼 古歌よりきこゆ



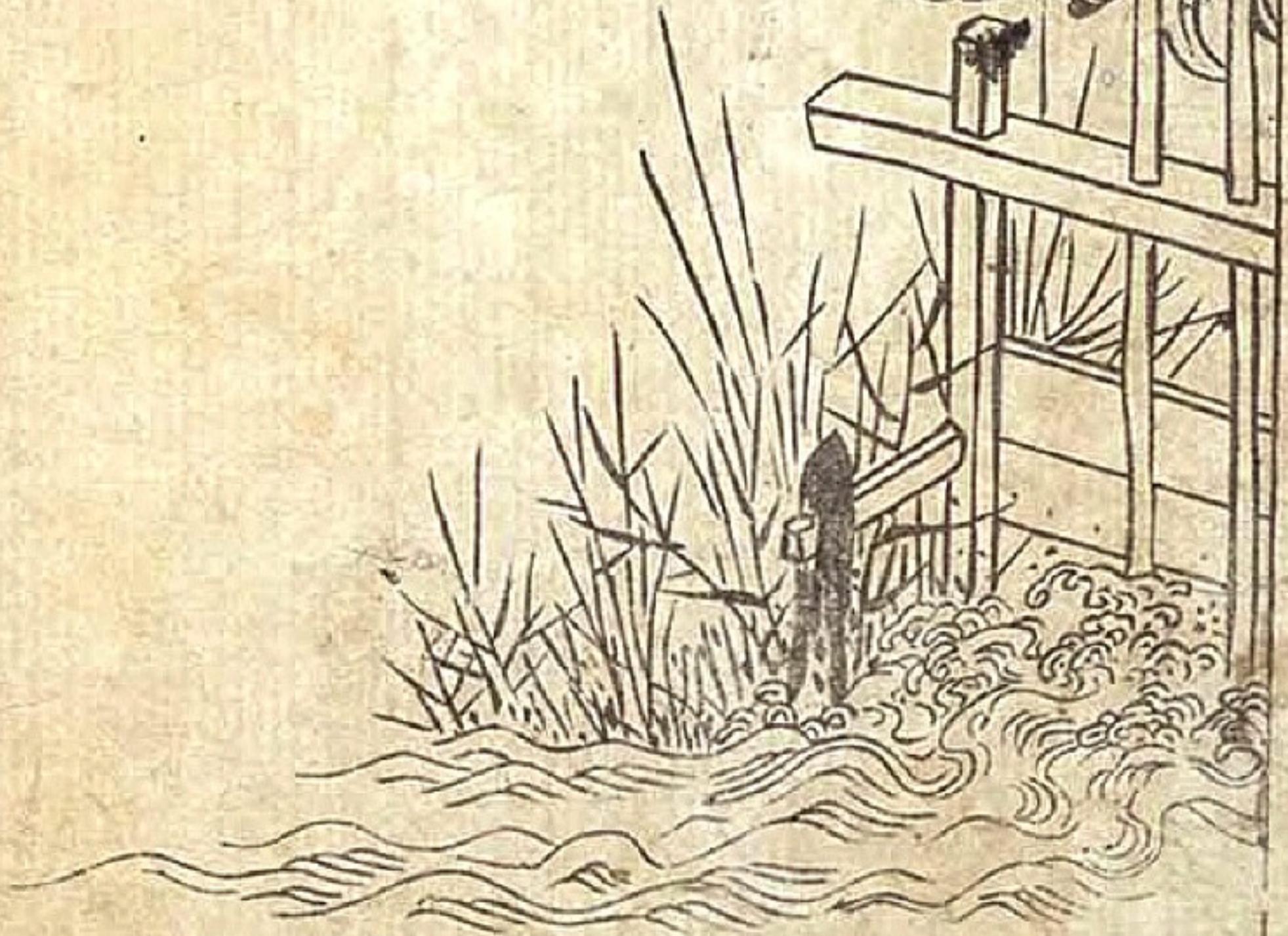
さくらば
逆柱



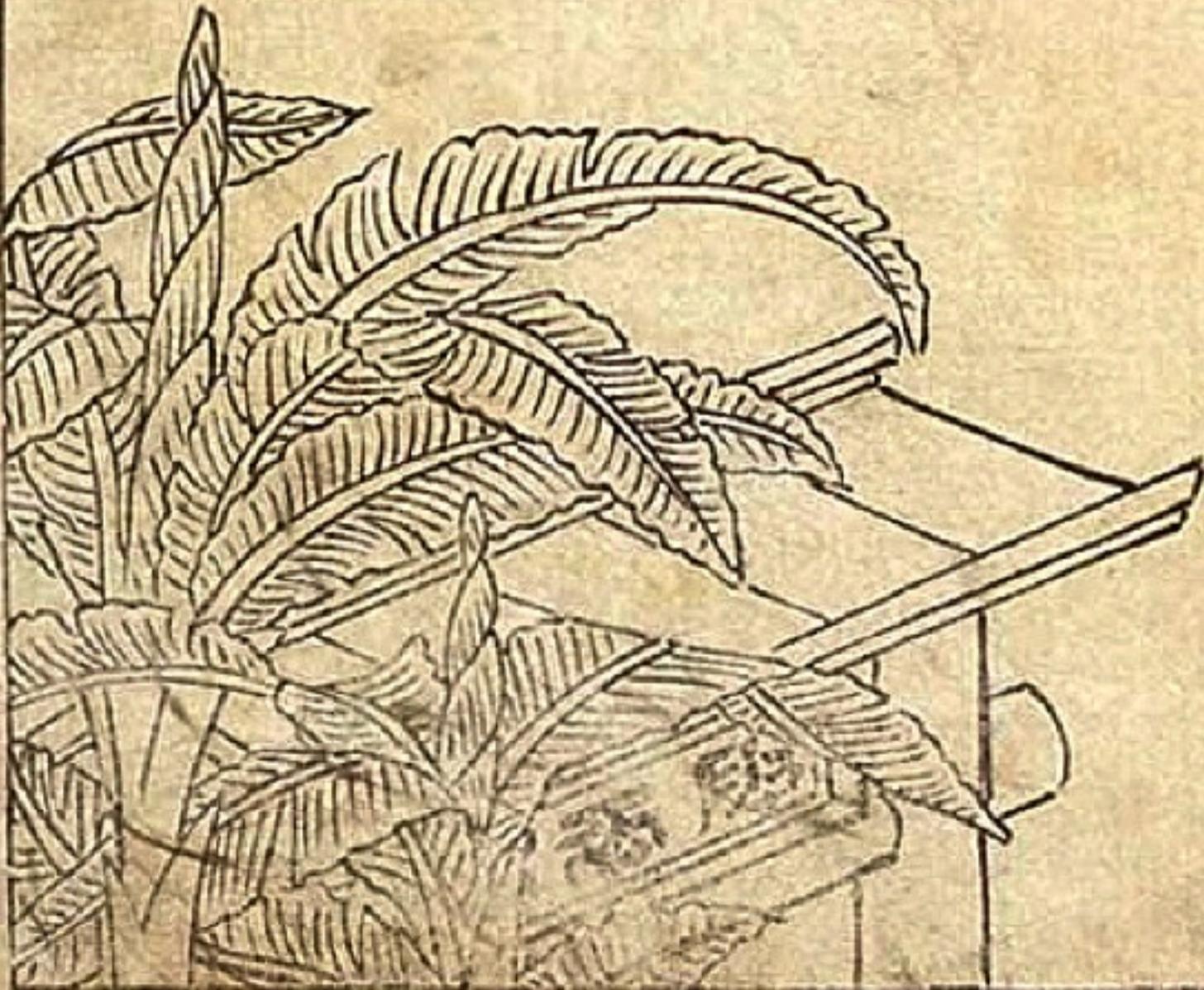
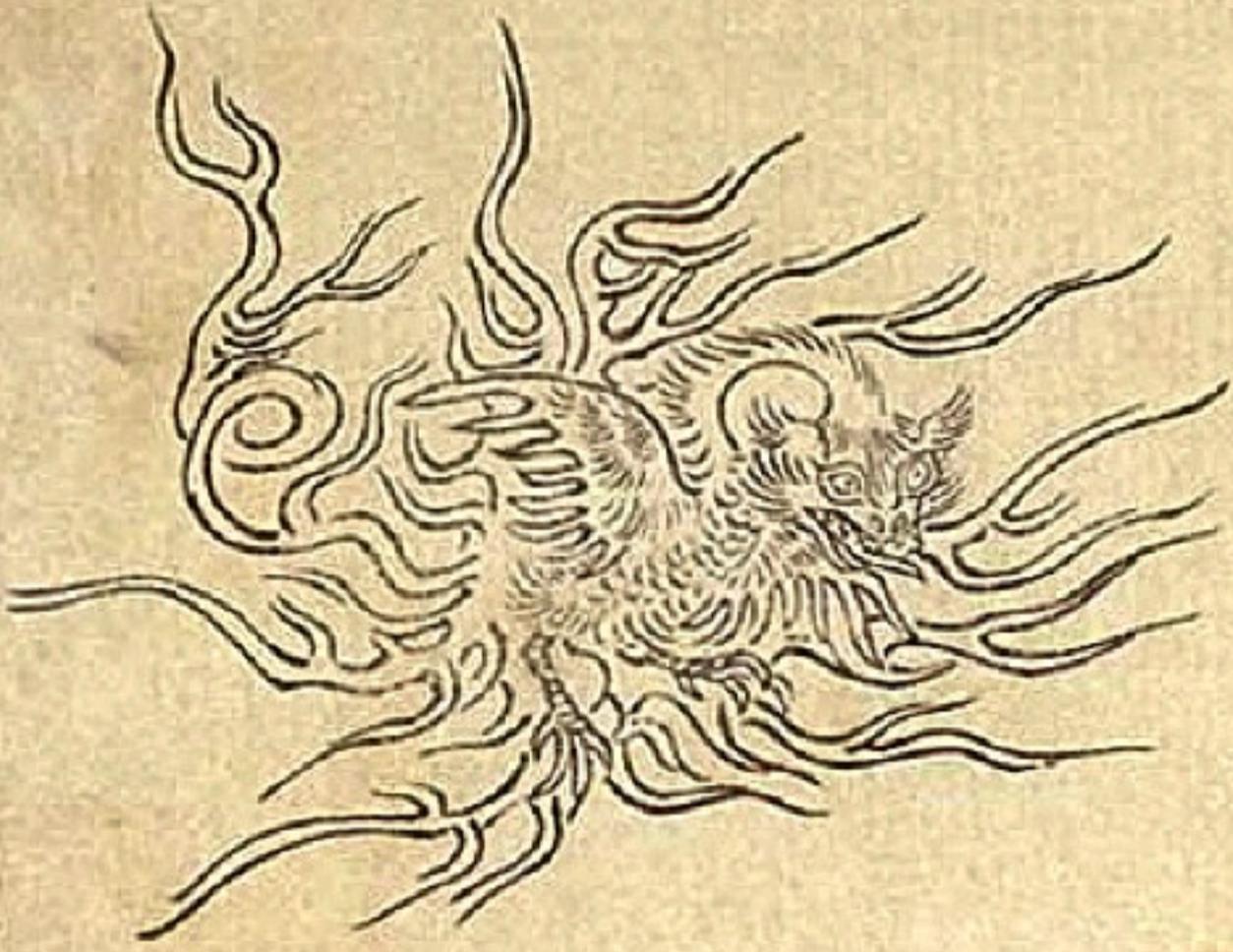
○ 子 目



○ 赤あか舌しつ



○ 火鼠



○ 元真寺



何々
垢嘗



○

白児

○

いぬくま
大神



○ 牛鬼 うしおに



○ 2015 年



○

死靈

一



めりやと丹
○塗土佛



○木魅こま

百年の樹よハ
神ありてかたちと
いふははらり



輪入道

車の轂より大なる入りの音つきしりか

かしの輪よりくさつれとさつりありくありこれとみる者魂と舞

は所衛母乃里と紙をきく家の出入り

戸はあきあきとさつりつくるなりと





人魂ひとたま

骨肉こつにくはたふゆ

魂たまの如ごとくゆか

こころ 人魂ひとたま

下しものつゆと

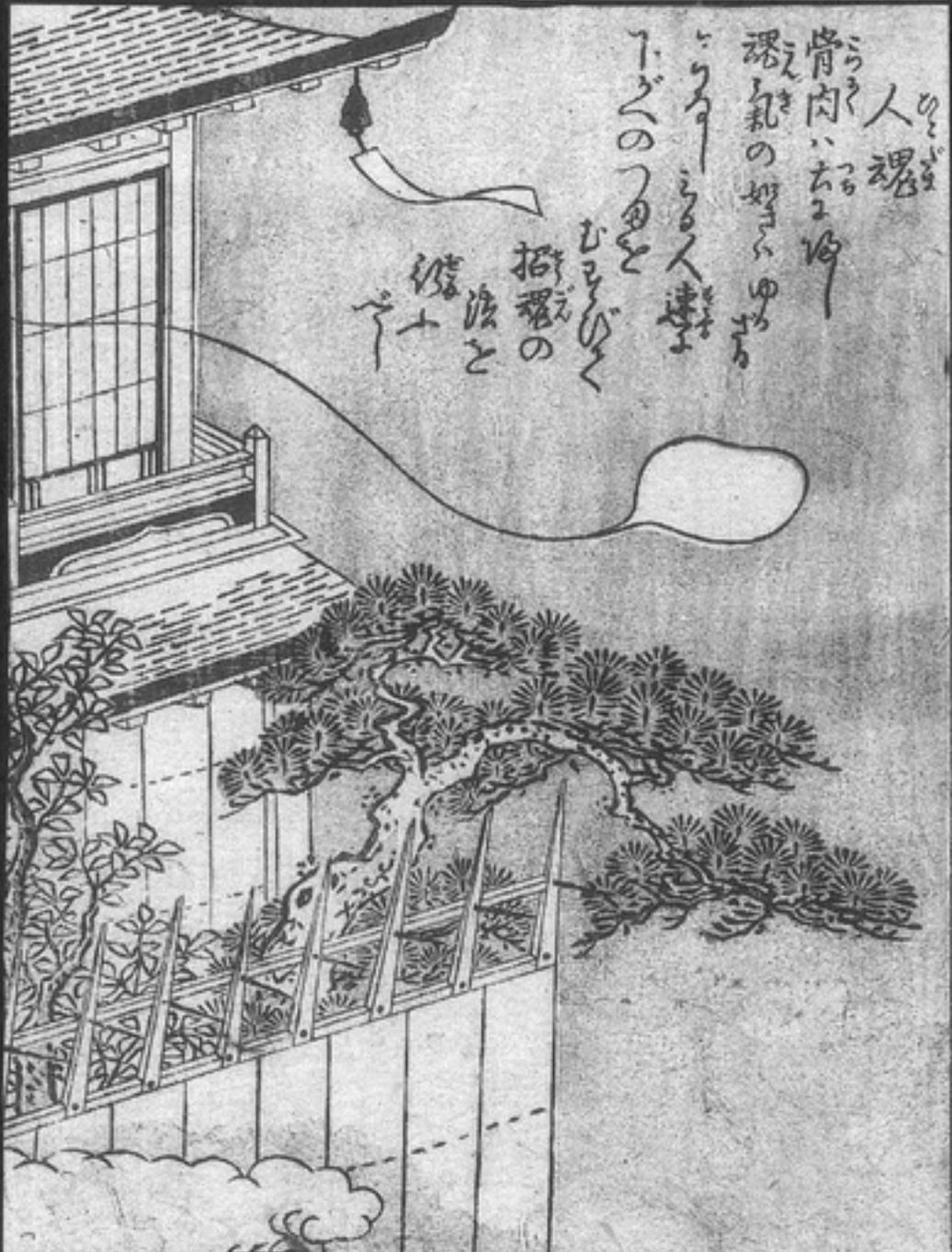
むらびとく

招魂まねたまの

法ほうと

魂たま

下しも



お魚
達磨

杖持不魚客はるど
徳村おん仁貝

ち色バのるそとふも
ちのぬべー一押お守と
かちトさとのとまのちらふいからぬ



貉はつみの化まるまをまささく
 狐きつね狸り子こおおととららばばああるる辻つじ堂どう子こ
 年としふふららむむじじなな僧そうととななけけくく
 六む時じのの勤ごんおおううままりりがが食た後ごのの一いっ睡すい子こままれれととままれれくく尾おとと生なせせり



あらし
雨女

あらし 巫山の神女ハおま
あらし 雨とあらしと
あらし 雨女もあらしの
あらし



大首

大瓦物の大なるあ

両方の星明り子後集をくるとける女の音おそわー

あんな

あんな



鑿口あぶらぐち

膝ひざの口ぐちとのふふふ

ひひもくもくあぶあぶとと

ああししももとと

ああんんごごのの

ひひももとと

ああししもも

ああんんごご

ああししもも

ああんんごご

ああししもも

ああんんごご

ああししもも

ああんんごご



覺あきと

花はな潭たん美み濃のの深ふか山やまに攫あり山やま人びと

啼なく覺あきとと云いはく色いろむく毛け長ながく

あく人の言こととありあく人の意こころと察さす

あく人の害がいとあはれ人ひとこれと殺ころさんと

あはれ先まの意こころとさとりくもげと云い



人面樹

山谷ありその花人の首の如し
りゆをくくして笑つるもきり
ありあきりよとてはせのま

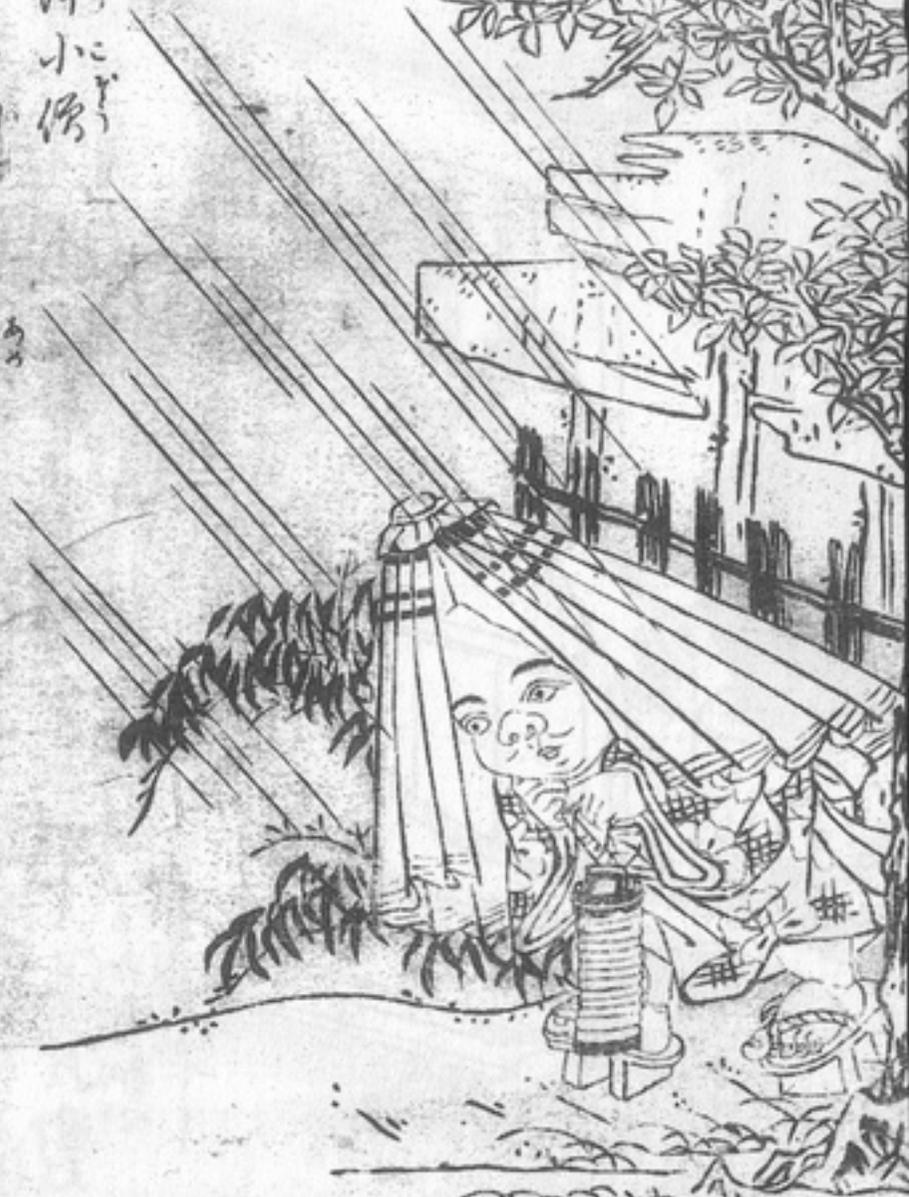
萬葉集

巻八



雨降小僧

雨の降くと雨師といふ事あり
小僧といふものハヤツラをば剃る也



目目連

煙霞^{えんが}泣^なく

むくく^く相^あい

家の^{いへ}中^{ちゆう}に

目^めを^を多く^{おほく}むく^く

基^この^のを^をむく^く

竹^{たけ}の^のむく^く



魁 カウケ

一名と早長とよまろこ一剛山すまろ

その状人面うく獸身ありまろ是二ツ

うしく走まろ同此如く是は神也と傳ふ

早しく雨ふるまろ



油赤子

近江國大津の八町子

玄のこころの火籠坊

まづうすあり 古人云むう

志望の里に油とろうもの

あり 兼 兼子 兼 兼子の地蔵

乃 油とろうもの 乃 兼子の者 乃 兼子の魂 乃 兼子の火籠坊 乃 兼子の再世

とろうもの 乃 兼子の魂 乃 兼子の火籠坊 乃 兼子の再世



青鷺火

あをさぎのみ

あをさぎ
青鷺の事

鏡ハ夜花と見ハ

かろいとも相ひるものし目の光を映し
浦よりてをさき見し



千載の本々精あり狀異物
のこゝろ一處一處人ユナリ
又山嶽と云對あり

彭侯



鬼オニ

世に丑寅の方を
鬼門といふ今鬼の
形を画くに於て牛角
としたりは狻と虎皮を
まじふを丑と寅との二つ
を合せてこの形とせり
といふ



般若

般若 樹のしりく



青行燈

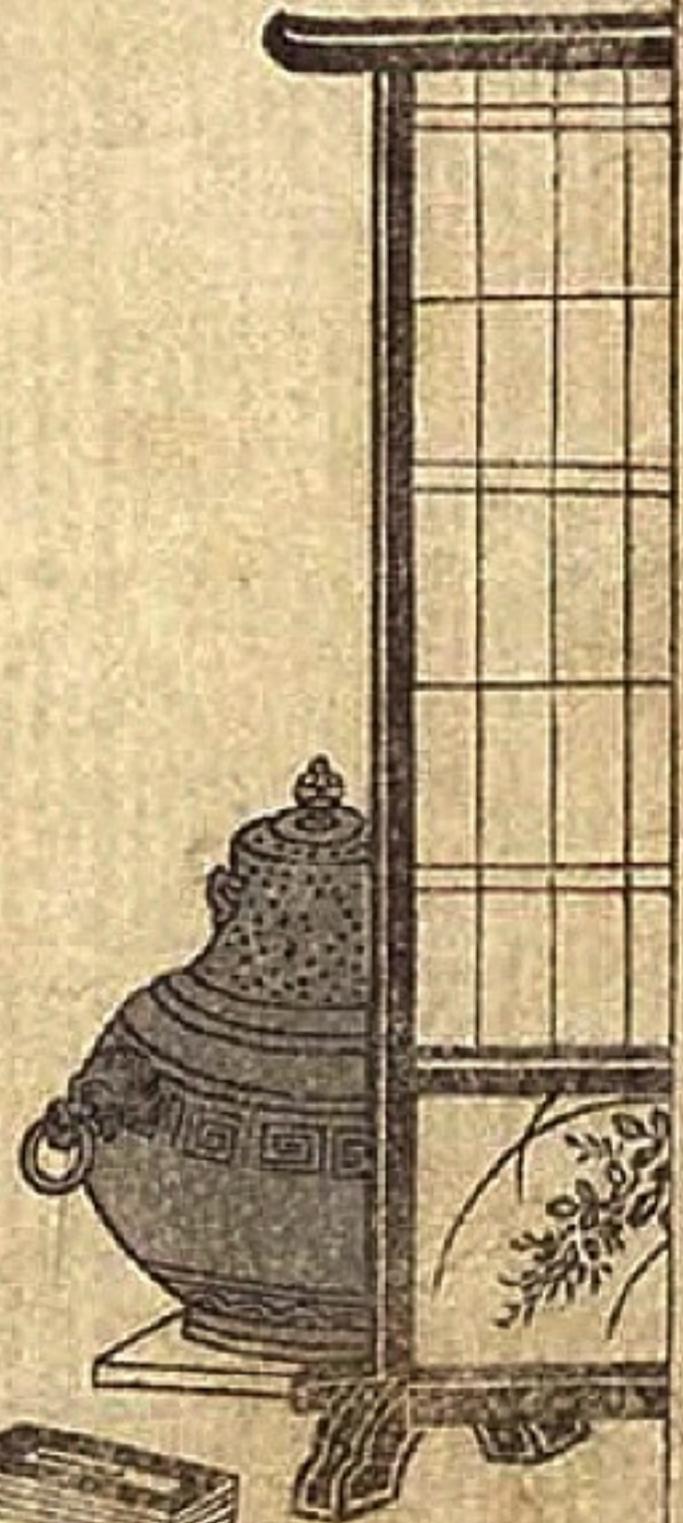
燈さえんくして又あまうま
影懐かしくしてくまむ時
影は燈にさつるものあつらひ

あつらひと云ひしは、百拙作とみせしものい
ふさ紙まくらひ、影懐かしくしてくまむ時
影は燈にさつるものあつらひ、怪しいといふ



○生靈

生靈



人魚

建木の西子

あつ人面うて

魚身足あり胸

より上ハ人うて

下身魚なり色

氏人國の人なり

とも云



○火車くわしゃや



山嵐

高嶺とよる

巖あり

山ありと

まいてまう身のも

そりめい

叶 妖怪

名しりまの

めりあ

うきふあんと

夏んまのりか

